

令和2年3月13日(金)

鳥羽市エコツーリズム推進協議会が 第15回エコツーリズム大賞で「大賞」を受賞！

3月13日、環境省や日本エコツーリズム協会による第15回エコツーリズム大賞で「大賞」を受賞した鳥羽市エコツーリズム推進協議会のみなさんが市長室を訪れ、受賞報告をしました。



同協議会は平成22年7月に設立し、漁業・農業関係団体、観光商工関係団体、エコツアー事業者、行政など29の団体が活動しています。主な活動としては、協議会を開催し、会員間で情報共有を図ることや鳥羽の自然を満喫するエコツアーを開催するなど、地域の魅力を活用した観光の取り組みを進めると同時に、地域資源の保護を目指し、さまざまな機関と協力して地域の中に循環と連携を取り入れたエコツーリズムを進めています。

同協議会の江崎貴久会長は「長年の活動が評価された。鳥羽市のさまざまな機関が意見を出し合う場づくりができたことが大きい。これからも関係機関と協力して地域の観光を大事にしていきたい」と話し、中村市長は「誇らしい賞。地域とつながった観光があることは強みになる」と受賞を喜びました。